問 自主財源の取り組みは

答 広報誌への広告掲載など今後検討

自主財源確保に向けて調査（広告宣伝）

広報誌へ広告が載ったら

松中キミエ 議員

問 自主財源の確保は、健全で安定した財源基盤を確立し、将来の町づくりに重要です。本町では、ホームページのバナー広告を活用しているが、町役場で使用の封筒や広報誌への広告掲載の考えは。

町長 年々町税が減少し、財政運営が大変厳しい状況にある。自主財源の確保は大変重要であることから、広報誌への広告掲載は、今後検討していく。

問 準備に時間が必要であるが、実施の時期は。

総務課長 今年度中に先進事例を調査し、要綱等も整備したうえで、来年度から実施を考えている。

問 ふるさと納税を民間企業と協力し、ネット納税やコンビニ納税の考えは。

企画財政課長 寄附金者の利便性を考え、ネット納付方法や記念品を地元の協賛業者等に募れるか検討していく。

問 学校における熱中症対策は

答 ミストシャワーを調査研究していく

問 近年、熱中症で搬送される児童生徒が増えているが、防止対策は。

学校教育課長 気温・湿度などに配慮した運動の実践やこまめな水分補給、適度な休憩、児童生徒の健康観察など健康管理の徹底を図っている。各学校でマニュアルにより応急処理の対応をしている。

問 熱中症の危険段階が一目でわかる簡易な測定器があるが、各学校で活用しているか。

学校教育課長 現在、置いていない。

問 簡易熱中症指数計を各教室に用意する考えは。

学校教育課長 今後、効果を確認したうえで対応する。

問 炎天下の中、スポーツをする児童生徒の体温を下げる効果があるミストシャワーを各学校に設置する考えは。

学校教育課長 今後、調査研究していく。

楽しみにしているミストシャワー